

## 事務事業評価表（一般事業）

評価対象年度	令和 元 年度
1次評価日（主幹等）	2年3月31日
2次評価日（課長等）	2年3月31日

1 事業名	ホストタウン推進事業	コード	16532
-------	------------	-----	-------

2 担当部課	部等 企画政策部	課等 企画課	作成者 清水 亮
--------	----------	--------	----------

3 事業概要	目的体系	基本目標	みんなでつくる、確かな未来を拓くまち		
		政 策	市政運営の推進	施 策	その他
		予算科目	ホストタウン推進事業費	業務委託	一部委託
		実施義務	なし（選択的事業）	国県補助	なし
		根拠法令			

## ●事業の内容（D0）

4 事業の概要等	*対象者（誰のため）、意図（どのような状態にしたいのか）		
事業の概要 （簡潔に）	カナダを相手国とするホストタウンとして、大会に出場する選手等、カナダ関係者、日本 人オリンピック・パラリンピアンとの交流などを行う。		
目的	対象者	市民	
	意 図	大会に向けた機運醸成、教育文化の向上、地域経済の活性化	

5 事業の実施内容	*元年度に、いつ・どこで・誰が・何を・どのように行ったか、という具体的な内容		
	①カナダ文化講演会（講師：吉村和敏氏） 4/20(土) 73名 ②デザインイラストコンテスト 4/22(月)～8/30(金) 130点 ③在日カナダ人等との交流、岡谷文化の発信 8/12(月)～8/14(水) 11名 ④日本人オリンピックとの交流1（講師：平野早矢香氏） 8/17(土) 234名 ⑤小中学校におけるカナダ給食の提供 11月～12月 11校 ⑥日本人オリンピックとの交流2（講師：岩本亜希子氏） 12/21(土) 66名 ⑦その他カナダ文化を知るための講座各種 ・カナダ食材を用いた公民館講座 12/18(水) 11名 ・多文化交流講座aboutカナダ 2/15(土)、2/22(土) 21人		
前年度の課題への 対応	なし（令和元年度新規事業のため）		

6 指標の達成状況	*活動指標：この事業の規模、成果指標：この事業によって得られる住民の満足度				
区 分	29年度	30年度	元年度	2年度(予算)	
① 活動指標（指標名）	ホストタウン推進のための取組件数			単位	件
実績値			8		
* 指標の説明	ホストタウン推進のために実施した事業の件数				
② 成果指標（指標名）	ホストタウン推進事業への参加者数			単位	人
目標値			400	500	
実績値			530		
達成度	-	-	132.5%		
* 指標の説明	各種の事業への参加者数				
* 目標値の設定方法の説明	前年度実績値の概数				

7 ア) コストの推移

\* この事業にかかる費用（人件費は、1人あたり年間800万円で換算）

[単位：円]

区分	29年度	30年度	元年度	2年度(予算)
① 直接事業費	0	0	2,210,233	3,223,000
経常経費			0	
臨時的経費			2,210,233	
* 臨時的経費の説明	ホストタウン推進に要する経費全般			
区分	29年度	30年度	元年度	2年度(予算)
② 人件費	0	0	4,000,000	4,000,000
正規職員の人数(人)			0.50	0.50
③ 合計コスト(①+②)	0	0	6,210,233	7,223,000
前年度比			-	116.3%
財源				
一般財源	0	0	5,918,233	7,223,000
内訳 特定財源			292,000	0
* 特定財源の説明	スポーツ振興くじ助成金			
④ 活動一単位あたりコスト	-	-	500,000	
前年度比			-	
⑤ コストに関する補足説明				

イ) 補助金負担金の状況

[単位：件、円、%]

補助金負担金名		29年度	30年度	元年度	2年度(予算)
アスリートフェスティバル負担金	件数				1
	金額				100,000
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
ア)の①に含まれる負担金等合計金額及び割合	合計金額	0	0	0	100,000
	割合	-	-	0.00%	3.10%

\* 行が足りない場合は追加してください

●事業の評価(CHECK)

8 妥当性評価

\* 妥当性=行政がこの事業を行う必要性はあるか。

妥当性

標準

評価項目	はい	いいえ
① 現時点で、税金を投入して積極的に関与すべき重要な分野である。		0
② 民間(企業、NPO、市民団体等)へ委ねることが難しく、市が行う必要がある。	1	
③ 民間(企業、NPO、市民団体等)が行うサービスと類似・競合していない。	1	
④ 国・県の事業、市が行っている他の事業と類似・重複していない。	1	
⑤ この事業の効果は広く市民に還元され、特定者の利益にはなっていない。	1	

9 有効性評価

\* 有効性=成果指標(項目7/住民の満足度)は向上しているか。

有効性

標準

評価項目	はい	いいえ
① この事業が属する施策において、この事業の優先度が高い。		0
② 社会情勢の変化や市民ニーズを把握し、今年度の事業内容に反映した。		0
③ この事業の目的を達成する上で、現在の方法が最も効果的で低コストである。	1	
④ この事業の利用者が増加した。	成果指標の実績値 前年度比	-
⑤ 年度当初に期待した成果が得られた。	成果指標の目標値 達成度	132.5%

●改善の内容 (ACTION)

10 具体的な課題と改善

課題	<p>(少ない費用で効率的に事業を行い、市民サービスを向上させる上で、現在課題になっていること)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>卓球カナダ代表選手の事前合宿、事後交流に向けて交渉を行ってきたが、新型コロナウイルス感染症の拡大、大会の延期等の理由により、選手等の来岡が未確定である。</li> </ul>	
	<p>(上記の課題をふまえて2年度以降に実施する、具体的な改善の内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き、カナダ卓球協会との交渉、折衝を行う。</li> </ul>	
改善方法		
	改善開始時期	R2. 4～

●次年度の計画 (PLAN)

11 次年度の方針	継続して実施	12 施策評価による2年度の優先度 *H30年度施策評価表より転記すること	
-----------	--------	--	--